

『消しましょう その火その時 その場所で』(全国统一防火標語)

～平成29年 春の火災予防運動防火パレード出動式～



「消しましょう その火その時 その場所で」を統一標語に「青森県春の火災予防運動」が4月10日にスタート、16日までの期間で県内各地で火災予防運動が展開されました。

東通村でも4月10日、東通消防署前で防火パレード出動式を行い、火災への注意を呼び掛けました。

式では越善靖夫村長が東通消防署員に向けて「東通村では、平成28年4月1日から平成29年3月22日の約1年間に、5件の火災が発生しており、今年には火災発生件数を減小さささせるために東通消防署員には、より一層、火災予防活



動に力を入れてほしい」と訓示を述べました。

訓示の後、署員らは颯爽と消防車両に乗り込み、警鐘を鳴らしながらそれぞれの担当地区へと向かいました。

今年4月に入って乾燥した日が続いており、さらにはこれから風の強い日が続くことが予想されます。各家庭での火事以外に、山火事などにも注意しましょう。



「9」のつく日は、レストハウスで海・山・里の幸を！

～東通村生産物等直売所がオープン～

今年も野牛川レストハウス隣に東通村生産物等直売所がオープンしました。4月から11月の9のつく9日・19日・29日に、東通村の今が旬な海の幸・山の幸・里の幸を販売していきます。

野牛川レストハウスで行われる、東通牛の特売開始時間は午前9時30分ですが、その時間前にレストハウスを訪れ、東通牛を購入するための整理券を入手し、販売開始前から、東通牛の品定めを行うお客様もいらつしやいました。そして、好評により販売開始からすぐに、殆どの東通牛が売り切れてしまう程、今回の特売も大盛況で終了しました。

直売所での農産物・海産物の販売は午前10時に開始され、大人気の尻屋産殻つきウニや、ババガレイ、マゾイ、タコ、岩ノリ、等の海の幸、ホウレンソウ、ジャガイモ、ネギといった山の幸も販売されています。鮮魚売り場ではババガレイやタコを、発泡スチロールの箱ごと、購入していくお客様の姿も見られました。毎月9のつく日は直売所とレストハウスへお越しください。



ホウレンソウの販売



魚は当日獲れたてのものも



大人気の東通牛